編集 〒115-0044 東京都北区赤羽南 2-6-6 TEL: 03-3598-3337





http://www.wakuwakukan.net/

2016年9月号No.186

??なぜリボン??

生まれ変わった 再生したという意味の (Reborn). 新しく生まれ変わる 「便り」にしたくて、名付けました。

相模原市での障害者殺傷事件で8月2日、いくつかの障がい者団体は、厚生労働省内で 共同記者会見(写真)を用いた。(関連記事5.6面)

相模原殺傷事件 地域で暮らす制度や工夫を!

記者会見場には、尾上浩二 DPI 日本会議副議長、堀利和 NPO 共同連代表、関口明彦全 国「精神病」者集団代表、加藤 真紀子NPOこらーるたいとう 代表、池原毅和弁護士が並んだ。

尾上 DPI 副議長が口火を切 って「問われるべきは、むきだ しの優生思想に基づく行為と

それを生み出す社会状況である。排除的な社会ではなく、 インクルーシブな社会への転換が求められている。現在 打ち出されている"再発防止"は、障がい者を社会から隔 絶、排除する方向に進む危険性を有している」と基本的 な立場を明らかにしました。

堀共同連代表は、「障害者は生きる価値がない」とする 考えには「優生思想」は明らかで、かつて、石原慎太郎 東京都知事(当時)が重度心身障害者施設都立府中療育 センターを訪問した際、「ああいう人ってのは人格あるの かね」と感想をもらしたのに通じるものがある。かつて わたしたちは苦い経験をしている。1964年のライシャ ワー米大使の傷害事件の犯人は反米右翼思想の持主だっ たが松沢精神病院に通院していたことから政府やマスメ ディアは精神病者ゆえの事件として取り上げ、以後、民 間の精神病院が次々と造られる方向に進み、いわば保安 処分的社会防衛の措置がとられた。今回も措置入院強化 の方向に動くのは時代の逆行だと述べた。

関口病者集団代表は相模原事件を受けた措置入院見直



し検討開始に対する精神障害 当事者としての意見として、① 措置入院の検討を決めたこと が時期尚早であること②出口 の問題ではなく入口の問題で あること、③医療保護入院を含 めた非自発的入院全体の検討 はいたずらに出口を狭くする こと、④治安・監視強化のため

の検討ならば中断することをあげた。

加藤こらーる代表は、容疑者の障がい者への差別意識 への憤りと恐怖、もう一つは「精神障がい」に向けられ た「嫌悪感」で苦しかった。これは大阪教育大付属池田 小での児童殺傷事件を契機に心身喪失者等医療観察法が できたことを述べ、施設や精神科病院ではなく、地域で 暮らす人間関係や術(すべ)、制度をつくっていく方向性 を訴えた。

10 月に名古屋でアジア障害者交流会

これまで日本の共同連と、韓国の障碍友権益問題研究所が共 同して、フィリピン、ベトナム、中国、台湾のアジア各国で3 年ごとにアジア障害者交流会を開催してきました。今年はこれ までの交流をふり返り、今後どのように交流を深めていくかを 名古屋で開催することになりました。

時: 2016年10月22日(土)~24日(月)

参 加 国: 韓国 障害者友権益問題研究所/フィリピン BBMC/ 中国 延吉残疾人連合会/台湾 勝利財団/日本 共 同連 合計 約50名

場 所: 今池ガスビル 7階 会議室(交流会 9階レストラン「ガ ス燈」)

◆9月03日(土) NPO 法人わくわくかん 理事会 職員研修会

◆9月10日(十) はたらっくす 16:00~ 自立訓練室

~25 日 共同連全国大会 大阪・国際障害者交流センター ◆9月24日(土)

◆9月26日(月) 現場協議会 16:30~ スカイブリッジ

◆9月27日(火) 家族懇談会 16:00~ 自立訓練室

<わくわくかん9月予定表>



heneral and the second of the

就労継続支援 A 型事業

北区赤羽南 2-6-6 TEL: 03-3598-0089 FAX: 03-3598-0089

今月のレシピ

~とうがんスープ~

【材料】 4人分 とうがん — 250g 豚肉 — 100g にんじん — 1/4本 さやいんげん — 4本 だし汁 (またはスープ) — 適宜 しょうゆ — 適宜

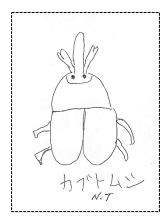
【作り方】

- ① とうがんはわたをとり、食べやすいひと 口大に切る。にんじんは皮をむき、2 mm 厚さのいちよう切りにする。
- ② いんげんは塩少々を入れた熱場でゆで て冷水にとり、斜めにうすく切っておく。
- ③ だし汁がガラスープで豚肉と①を煮て、 しょうゆ、塩で味を整える。青味に②を添 える。



◆とうがんは利尿効果もあり、こ の季節に一度は味わいたい素材 です。子どもたちに形や大きさ を見せたり、皮むきを手伝って もらったりしています。





わくわくしよう

さとっし一作



人は言う そんなのお前の あまえだと 普通の人には分からない 苦悩がある という事 一人でいると落ち込む ときもある 訳もなく でもここにきて 居場所が出来た

あの時 わくわくかんで わくわくしたね あの時 わくわくかんで わくわくしたね

自分ひとりで耐えられない つらさが ある時が みんなといると 安心するときも あるよね 一日中 みんなと話して なごむね 一人じゃない 仲間がいる事

あの時 わくわくかんで わくわくしたね あの時 わくわくかんで わくわくしたね

いつの日か お花を添える日が おとずれる 自分ひとりで 生きていかなくては ならない でもそれを 今から考えても 仕方ない 今を大事に 生きていこうね

あの時 わくわくかんで わくわくしたね あの時 わくわくかんで わくわくしたね

あの時 僕の時間は動いた思い出達が

ほら見て 太陽が 今年も みんなと見れる

これから いつもみんなが 一緒に 一緒にいるよ ほらほらほらほら feel you anywhere

自立訓練(生活訓練)事業 ボランティア響会

響(ひびき)

T114-0032

北区中十条 1-2-18

北区障害者福祉センター4F TEL 03-5963-6888

外出報告 江戸東京博物館

王子駅を出て秋葉原で乗り換え両国で降りて、両国で相 撲博物館に行きました。相撲とりの絵や字の展示があり、 日馬富士の絵がとてもうまかったのが印象的でした。歴代 の横綱の自画像や写真がのっていて、最近の横綱はよく覚 えていました。そして、ランチで、3 班にわかれ、とんか つ屋、すし屋、うなぎ屋に行きました。自分はとんかつ屋 に行きました。とてもボリュームがあっておいしかったで す。それから、江戸博の前で集合し、みんなで江戸博の大 妖怪展に行きました。室町、江戸時代の人が妖怪をどのよ うに感じていたのかがわかりました。幽霊がおそろしい絵 がありこわかったです。そして常設展に行って、昔の日本 橋があってそこをこえると、江戸の昔の模型がありました。 かごに乗ったり、人力車に乗ったり楽しめました。



綾瀬はるか







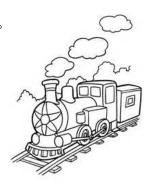
「人生いろいろ、鉄道いろいろ…」

私が鉄道好きになったのは、母のいなかに汽車を使っ て行くようになってからです。

あの頃は、まだ東海道新幹線しか走っていなく、いろ いろな汽車が走っていてよかったです。あの頃は、特 急、急行がありました。

そしてSLもありました。 病院に 10年以上入院 していた間にいろいろ変 わったようです。特急、 急行、SLがなくなりさ びしいです。しかし、お 墓参りのため一度北陸新 幹線にのりたいです。

(電車好きな T)



かき氷器は人気者?!



夏と言えば、花火にプールにかき氷。…そう、 かき氷です。6月のおちゃのこ祭祭の売り上げ から、スタッフさんが予算を捻出し、かき氷器 が購入されました。初日は、興味津々だったも のの、日が経つにつれ、職人(?)が生まれるほ どに…。1日1杯だけなのが残念ですが、食べ 過ぎにならない為にはみなさん守りましょう。

ひびきメンバーへのインタビュー♪

今回は女性メンバーSさんに聞きました。

- Q ひびきに通っている年数、どう変化したか、教えて…。。
- A 1年と8ヵ月です。友達ができ、病気が落ち着いてきました。
- Q ひびきに通って、自分にとってどういう場所ですか?
- A 通うことで規則正しい生活ができます。仲間ができて自分らしく いられる場所だと思います。
- Q ひびきで好きなプログラムは何?

A リズム体操とクッキング。リズム体操はいろいろな曲を踊れて楽 しいです。クッキングは家で作ることができるメニューを覚えられ て勉強になります。

Q ひびきに通所する日の 1 日の流れを考えて下さい。

A 朝 6:30 分に起きて、朝食作りをして、洗濯をしています。朝 8: 30分に出発して9:10分頃にひびきに到着。プログラムをして、午 後3:30分に家に着いて夕食の準備をしています。夜22時位には寝 るように心がけています。

Q ひびき卒業後はどうしたい?

A A型の作業所に行きたい。

相模原事件に障がい者団体が共同記者会見での声明から

インクルーシブな社会へ 地域で暮らす術大事に

8月2日、障がい者団体は、相模原市の障がい者殺傷事件に対する厚労省の「措置入院見直しの検討」の動きに対し、記者会見を開き次々 と声明や申入れを発表した。東京の NPO こら一るたいとう、認定 NPO 大阪精神医療人権センター、NPO 共同連から意見表明があったが、紙面 の関係で、NPO DPI 日本会議と全国「精神病」者集団の声明を掲載します。

NPO 法人 DPI(障害者インターナショナル)日本会議 排除的な社会ではなく、インクルーシブな社会への転換を

1. 今回の事件に関する基本的な立場

相模原での障害者大量殺傷事件で問われるべ きは、むき出しの優生思想に基づく行為とそれ を生み出す社会状況である。排除的な社会では なく、インクルーシブな社会への転換が求めら れる。

2. で述べる通り、現在打ち出されている「再 発防止」は、障害者を社会から隔絶、排除する 方向に進む危険性を有していると考える。もし、 そうした方向が打ち出されるならば、今回の事 件の目的として言われている「障害者がいない 世界」に私たちの社会は進んでいくことになる。

あってはならない今回の事件に対して、その 問題点をしっかりと受け止めた上で対応をして いくことが求められる。あやふやな情報を元に した「対策」によって、方向を見誤らないよう にして頂きたい。

2. 「再発防止」として示されている事項について

(1)「施設の安全対策」について

通常の社会生活における安全対策は必要であ ろうが、「防犯 | 名目の下、障害者入所施設が より社会から隔絶された状況になり、入居者の 外出や地域の人々との出会いが制限され、入居 者の OOL が低下することになってしまわない か、大きな懸念を持たざるを得ない。

(2)「措置入院の在り方の見直し」について

報道によると、容疑者は犯行後、警察の取り 調べに対して「障害者なんていなくなればいい」 と語ったという。また。重度重複の人たちを狙 い撃ちにしたこと、家族に対しては「突然関係 を絶つことになり申し訳ない」と述べているが、 障害者本人に対する謝罪はないとも伝えられ ている。

絶対認められない考えではあるが、「優生思想」 という点では一貫したものを見て取れる。しか し、「思想」の問題を精神医療の対象とするの は間違いである。

そもそも、容疑者が措置入院の対象者であっ たかについても検証が必要である。今回の事件 を受けて、「措置入院の在り方」を見直すのは、

さらなる誤謬である。こうした検討は精神障害 者への偏見と隔離を強めることになり、私たち は検討会の設置に反対する。

3. 今回の事件を受けてなすべきこと

2014 年に批准した障害者権利条約 や、それに基づく改正・障害者基本法、 障害者差別解消法などに示されてい る、「障害の有無によって分け隔てら れることのない共生社会|(インクル ーシブな社会)を基本とした対応がな されるべきである。

(1) 施設からの完全な地域移行計画 と地域生活支援の飛躍的拡充を

今回の事件の背景に、とりわけ重度 の知的障害のある人、重複障害のある 人、高齢の障害のある人の地域移行が 遅々として進んでいない状況がある のではないか。

事件に遭われた施設の管理体制を直 接批判するものではないが、今後の在 り方として入所施設ではなく、地域で の生活を基本に進めていくべきであ

国も「施設からの地域移行」を掲げて 10 年余 り経つが、今回の事態をきちんと受け止めて抜 本的な地域移行策を打ち出すべきである。施設 や病院に誰も取り残されることなく完全な地 域移行が可能となるような計画と、どんな重度 の障害があっても地域で暮らせるように重度 訪問介護などの地域生活支援を飛躍的に拡充 して頂きたい。

(2)「殺されてよい命、死んでよかったというよう な命はない | との毅然としたメッセージを社会全体

多くの障害者、関係者は今回の事件に強い衝撃と 怒り、悲しみとおそれを抱いている。私たち DPI は優生思想を絶対認めない。「殺されてよい命、死 んでよかったというような命はない | といったメッ セージを社会全体で共有していくことが求められ ている。

優生思想というと、戦前のナチス時代にあった 過去のことと受け止められがちである。しかし、 日本では「優生上の見地から不良な子孫の出生を 防止する」ことを目的に掲げた優生保護法が 1996 年まで続いた。障害者や関係者の粘り強い

運動でようやく廃止されたが、優生保護法下 で行われた不妊手術などの被害者に対する謝 罪や補償は、いまだになされていない。 過去を反省し、「優生思想は認めない」との

メッセージを託し、政府は優生保護法の被害 者に対する謝罪・補償を早急に行うべきであ

なすべきは、措置入院制度の在り方検討会の 立ち上げではなく、まず優生保護法の被害者 への謝罪を行い、検証・補償の検討会の立ち 上げを行うことである。

2016年8月2日

2.出口の問題ではなく、入口の問題であること 容疑者に対する措置入院の解除、退院後の支

1. 措置入院の検討を決めたことが時期尚早であること

現時点では容疑者に本当に何らかの精神障

したがって、精神障害による犯行と決めつけ

ることや、事件を予防できなかった原因を精神

医療及び措置入院制度に求めたりするのは、時

最低でも裁判で精神鑑定の結果がだされ、裁判

所が認定するまでは検討を中断するべきです。

害があったかどうかはよくわかりません。

期尚早と言わなければなりません。

援が不十分であったことが問題であったかの ような報道がされています。しかし、 そもそも容疑者が措置入院の要件で ある精神障害があったのかどうかが 現時点では不明です。

とくに、大麻の使用については、入 院時ではなく入院後に確認されているため、中 毒性精神病による自傷他害の恐れを論じるべ きではないし、単に「危険思想」というだけで 措置入院にしたのなら出口ではなく入口の問 題こそ検討しなければなりません。

全 国「精 神 病」者 集 団 措置入院見直し検討開始に対する精神障害当事者としての意見表明



左から関口全精代表、堀共同連代表、尾上 DPI 日本会議副議長

このたび、相模原の障害者施設で発生した連 続殺人事件で亡くなられた方に心からご冥福 をお祈りするとともに、被害に合われた方々が 1日も早く回復されることを願っております。

7月26日、相模原の障害者施設で前代未聞の 殺人事件が発生しました。約50名の障害者を 殺傷した植松聖容疑者は「障害者は生きていて も仕方ない」という動機で事件を起こしたとさ れています。この「障害者は生きていても仕方 ない」という考え方は、社会の中に根付いた障 害者に対する差別意識のあらわれであると思 います。ヒットラーが優生思想に基づいて行っ た T4 作戦を思い起こさせます。結果、精神障 害当事者の中には、調子を崩したり、不安な気 持ちになっている仲間もいます。

また、私たちは一箇所に大人数の障害者を収 容する施設という環境が、短時間に 50 名近く の重度障害者の殺傷を可能とした点を厳しく 指摘します。施設は大人数の利用者を一箇所に

集めて少人数のスタッフで管理・ 援助していく仕組みであり、権能 が管理・援助する人に集中しやす い点に特徴が認められます。その ため、少人数のスタッフが機能不 全になると、利用者が無防備な状 態で放り出されるような事態が起 こり得ます。今回は、刃物を所持 した元施設職員による殺傷事件と いうかたちではありましたが、重 度障害者が逃げ遅れて死に至る問 題は、災害その他さまざまなかた ちで起こり得るものです。

そして施設や精神科病院は、障害 者を収容して社会から隔絶してし まう負の側面があります。このよ うに障害者を隔絶し、共に暮らす

ことのない社会においては、健常者の側から見 て障害者が役に立たない、生きていても仕方の ない存在のように思えてくるのだと思います。 障害者とその他の人が共に当たり前に暮らし ていく社会にしていくためにも、施設や精神科 病院への長期収容状態から脱却し、地域移行や 地域生活支援の拡充が不可欠になると考えま

しかし、現在は容疑者に対する措置入院の解 除、退院後の監視が不十分であり問題であった かのような報道が散見され、厚生労働省が8月 に措置入院の見直しに関する有識者会議を設 置し、正式に措置入院の見直しの検討を開始し ました。私たちは、障害のある人もない人も共 に生きていく社会に向けて治安的な色彩の強 い出口を狭くするような法改正になるのでは ないかと深刻に憂慮しています。

私たちは次の論点で措置入院の見直し検討 に対して意見を表明します。

3.医療保護入院を含めた非自発的入院全体の検討

2016年1月、政府厚生労働省は精神保健福祉 法の見直しのために「これからの精神保健医療 福祉のあり方に関する検討会」を設置し、改正 に向けての検討を開始しました。当該検討会で は、非自発的入院は医療保護入院のみを検討を しています。

それなのに、今回起こった不幸な事件1つだ けを根拠に措置入院のみが取り上げられ検討 されるのだといいます。本来、これら非自発的 入院は等しく障害者権利条約に違反すること が指摘されており、医療保護入院と措置入院を 合わせて総合的に検討し、障害者権利条約に適 合した法整備をしていく必要があります。

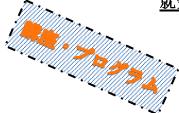
4.いたずらに出口を狭くすること、治安・監視強 化のための検討ならば中断すること

容疑者に対する措置入院の解除、退院後の支 援が不十分であったことが問題であったかの ような報道がされています。地域移行が課題と なっている現在、逆行する政策になりかねませ

容疑者を精神科病院に閉じこめておけばよ かったかのような考えは、精神医療を犯罪防止 の道具にする短絡的思考につながっていきま

このような考え方でしか検討が進まないの であれば検討そのものを中断、撤回するべきだ と考えます。 2016年8月2日

就労移行支援事業



-ンプロジェクト

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 北区障害者福祉センター4F Tel: 03-5963-6888

下水道ふれあいフェア&平和祈念週旬イベント 子ども連れや無農葉野菜が大活躍

7月27日(水)と8月4日(木)にそれぞれイベ ントがあり、わくわくかんも販売で参加しました。7



月27日(水)のイベントは、 浮間水再生センターで行われ た「下水道フェア」でした。 例年4月の週末に行われてい たのですが、今年から夏休み 期間中の平日の開催へ変更さ れました。例年よりも参加者 が減った印象がありましたが、

子供連れが非常に多く、延べで1000名を超える方が 浮間水再生センターを訪れました。食べ物を販売する ブースが非常に少なかったこともあり、配食サービス で準備した食べ物類は早々と完売しました。

一方、8月4日(木)のイベントは、北とぴあで行 われた「平和祈念週間」で、わくわくかんは地下展示 ホールに設けられた「ふれあいマルシェ」で販売を行

いました。わくわくかんの理事が 運営されている「えか農場」から 送られた無農薬野菜や、配食サー ビスで製造した焼き菓子、手作り の小物の販売をしたのですが、特 に野菜の売れ行きが好調で、昼過 ぎには早々と完売しました。

両イベントとも、リボーンプロ ジェクトの訓練生で売り子として

関わる方は、残念ながらいなかったのですが、値札や 貼り紙の作成等の準備で、大いに力を尽くしてくれま した。「えか農場」を紹介する貼り紙や、送られてき た野菜を調理するレシピを作成する等色々と工夫を 凝らしてくれて、実際の販売に大変助けとなりました。

メンタルヘルスマネジメント 検定講座を始めました!!

リボーンプロジェクトでは、8月よ り「メンタルヘルスマネジメント検定 Ⅲ種」(註)の対策講座を実施しており ます。メンタルヘルスマネジメント検 定は、組織における心の健康を推進す



るための知識や情報を得られる内容になっています。

リボーンでこの検定講座を実施する意味合いは3つあります。 第一にご自身のメンタルヘルスに役立ててもらうことです。自 分のストレスに気づき、早めに対処することで、体調不良や症 状の再発を事前に防ぎ、就労や訓練を継続することが可能にな ります。第二に就活時のアピールになるということです。この 資格を習得することができれば、雇用者側から「自己管理がで きる人」、「自分の病気を理解できている人」とみられる可能性 が高くなり、採用されやすくなるのではないかと考えます。

(註) Ⅲ種の説明:組織における従業員自らのストレス状況・ 状態を把握することにより、不調に早期に気づき、自らケアを 行い、必要であれば助けを求められることを目標をします。

最後に自信の獲得です。本検定は

あまり認知度が高くありませんが、 企業のストレスチェックの義務化



など、将来 的に伸び しろのあ

る資格です。また、Ⅲ種であれば合格 率は80%と高いため、しっかりと受講 していただければ、資格の獲得ができ

ます。この資格を獲得する過程でご自身の成長や達成感を感じ てもらえればと思い、実施していこうと考えています。



★今回、メンタルヘルスマネジメント講座を受講させて頂き大 変勉強になっております。心の健康づくりという事で「労働者 のストレスの現状」や「ストレスとは?」と基礎知識として教 えて頂いております。ストレスによる疾患との関連「頭痛」「過 敏性腸症」「摂食障害」…大切な事がほとんどです。

★自分や他人の精神状態の理解につながると思ったので、間違 った認識を改め正しい知識を活せるように学びたいと思いま す。



第4回 わくわくかん 家族懇談会のお知らせ

開催日時: 2016年8月30日(火) 16:00~17:00 場 所: 障害者福祉センター 4階 自立訓練室

内 容: 当事者が語る②(発達障害)

個人面談: ※(事前にお申し込みを) 17:00~

連絡先: TEL 03-5963-6888 FAX 03-3906-9996



「悪しきA型はなくせるのか」

共同連がシンポジウムを開催

悪しきA型問題に取り組んでいる共同連が「障害者就労におけるA型事業所を考えるシンポジウム~悪しきA型はなくせるのか」を7月16日、北区赤羽会館で開催した。シンポジストは、厚生労働省障害福祉

課就労支援係の服部剛係長、NPO 法人就労継続支援A型事業所全国協議会(略称・全Aネット)の久保寺一男代表、NPO 法人多摩草むらの会の風間美代子代表、そして共同連の斎藤縣三事務局長の四氏。

最初に、共同連が今年 1~2 月に 全国 112 の主要自治体に実施した、 A型事業所に関するアンケート調 査の結果を斎藤事務局長が報告し

た。この調査は昨年9月に厚労省が通知したA型事業者への指導に対する各自治体の対応などを問うもので、行政担当者の多くが悪しきA型に対して危機感をもっている状況が、回答結果を通じて伝えられた。次に厚労省の服部係長が、A型事業所に関するデータや障害者総合支援法見直しについての今後の取り組みなどを概説した。

続いてA型事業所を運営している全Aネットの久保寺代表と、多摩草むらの会の風間代表が報告した。 二人の発言に共通するのは、A型は障害者の就労にとって欠かせないものだが、種々の課題や問題があると いう点。久保寺代表は、B型からA型へ移行する人を増やし、利用枠を障害者以外の働きづらい人にも広げるなど、A型の可能性を探りたいと述べた。風間代表は、事業(レストラン)運営のために必要な専門職の人件費、当事者を支援する専門職の人件費、そして全員の福利厚生費も要るので、今の給付金額では厳しくてとても運営できないこと、またA型は精神障害の当事者にとって、やりがいを感じられる場だが、仕事が

ハードなので続かない人もいることなどを報告した。そして二人とも、悪しきA型事業所への対応が必要であると述べた。

斎藤事務局長は、2000年の規制 緩和によって誰もが福祉の世界に 参入できるようになり、金儲けを 目的とした悪しきA型が増えてき たと指摘。最近では、障害者雇用 率が高かった一般企業までもがA

型事業を始めているという「雇用から福祉へ」の事例 も報告した。

質疑・討論では、障害者が悪しきA型へ就職しないようにするための市町村の対応が重要だという意見、また「良きA型」の合意形成が必要ではないかという意見などがフロアから出された。討論の最後で斎藤事務局長は、A型事業は障害者だけを集めて働く場をつくるという福祉的発想に立った制度設計だからやはりうまくいかない、根本的な改革を考えていく以外に間違いを正す方法はないだろうと述べて、シンポジウムを締めくくった。 (共働研究会 A、F)



=津久井やまゆい園の事件について= ~一人の専門家として感じること~

7月26日、重度の知的障がい者49名が死傷する悲しい事件が起きました。この事件について、様々な供述と憶測が報道されていますが、心の専門家として考えされられたことを書ければと思います。

今回の事件は、ヒトラー的思想、つまり優生学的な思想に基づいた犯行であり、優生学は現代社会においては普遍的であるとも言えます。例えば、仕事ができるだとか、容姿が端麗だとか、身長が高いだとか、IQが高いだとか、これらはすべて優生学的な思想であり、本事件も極端な優性思想とそれを犯人に感じさせずにはいられなかった社会のあり方を問われているように感じました。特に犯人は、その現場に最

前線で関わっており、この思想を感じずにはいられなかったのでしょう。

重度の知的障がい者が被害に遭われた点についても、 我々いわゆる専門家が、彼らを無力化してしまっている可能性があります。つまり、この専門家たちが、知的能力として 〇〇はできないとして勝手に決めつけをし、援助して、悦に 入っている可能性があるということです。この点を議論しないことには、このような悲しい事件は再び繰り返される恐れがあるのではないでしょうか。かねてから日本は障がいを持たれる方に対して、隔離型の援助をしてきました。障がい者は劣性で健常者は優性という考え方です、この点をいかに議論するかが重要な意義を持つのであって、措置入院の制度だとか、防犯対策だとか、そういうことを話し合ったとしても、何の解決にもならないのではないかと考えました。 S. h

電話の思い出

リボーンプロジェクトOB うこっけい

友達の多くがスマホを持ち始めました。 私はいまだにガラ携です。 思えば 10 年くらい前まで、我が家には黒電話しかありませんでした。 さすがに黒電話はプッシュホンに換わり、私も携帯電話を持つようになりました。 一家に一台から一人に一台になったのは大きな影響がありましたね。

子供の頃は電話をかけるのに緊張したものです。 親御さんが出たらどうしよう?なんて。 正座してかけていたり、長電話を怒られたこともありましたね。 振り返れば、嬉しかったこと、悲しかったこと、電話を通して伝えて来ました。 高校入試の合格を、はしゃいで母に伝えたのも 母が逝ったことを、涙声で、叔父や伯母に伝えたのも 心配して気遣ってくれた仲間達の優しい声を届けてくれたのも 仕事が辛くて友達に愚痴ったのも

入院していた寂しい夜に、母の温かな声を届けてくれたのも そして、大好きなあの娘の可愛い声を聴かせてくれるのも 私と大切な人達を、いつも繋いでくれていたのは電話でした。 私と家族の哀歓は電話が一番知っているのかも知れません。





欧米のスピーチ(話す)文化に対して日本は手紙(書く)文化だと聞いたことがあります。 私も携帯電話は通話よりメールの方がたくさん利用しています。

けれど、相手の生の声を聴くと、口調や言い回しなんかで、相手の表情や雰囲気と 言った体温を感じ取れます。

今は農場勤務ですが、当初は事務センターでの電話当番での電話応対に緊張していま したね。礼儀正しく丁寧に、先方に失礼のないように。

これからも電話を通して、楽しいことも辛いことも伝えて行くのでしょうね。 なんだか昔の友達の懐かしい声が聴きたくなっちゃったなぁ。 それともやっぱり大好きなあの娘に電話してみようかなぁ。

今夜も私は受話器の向こうのあの娘に素直な想いを伝えています。

就労支援センター北わくわくかん 登録者 (2016年7月末) 610名 就職者 6名(事務、清掃補助他)

先月 ご協力いただいた皆様

・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉障害者センター・熊本センター・東京都障がい者就業支援事業所の会・ハローワーク王子・池袋・東京障害者職業センター・東京都精神障害者家族連合会・認定 NPO 大阪精神医療人権センター・NPO 法人こらーるたいとう・全国「精神病」者集団・NPO 法人 DPI日本会議・韓国京道畿道協同組合協議会・戸田中央看護専門学校・社会福祉法人ドリームヴィ・NPO 法人飛鳥会・東京アドヴォカシー法律事務所・(社福)東京コロニー東京都大田福祉工場・一般社団法人ローランズプラス・(株) ECA・東電ハミングワーク株式会社・社会的企業研究会・株式会社社会評論社

他多くの方にご協力いただきました。

グループホームわくわくかん

グループホームわくわくかんは、現在、男性2名・女性2名の方が入居中です。男性入居者Sさんは、所属している通所先になかなか通えず、週3日事務所でボランティア活動をしてくれています。慣れるに従って、だんだんボランティアの参加日も減ってきてしまいましたが、土曜日だけは必ず参加しています。理由を聞いてみると、元気良く「土曜日は日さんがいるから!」。日さんとは、もと男性GHの卒業生で、毎週土曜日に事務所でボランティアをしてくれています。GHに入居したての頃のSさんは、身近に知り合いもいなく寂しい日々を過ごしていましたが、そんな時日さんに出会い、日さんといる時だけが唯一ストレス発散になるそうです。「日さん、面白いもん!日さん、大好き!」。日さんも最初は戸惑いを見せていましたが、可愛い弟分が出来てまんざらでもない様子。今では、Sさんと世話人の間に立って、Sさんの悩みを何とかしようと奮闘してくれています。Sさんに良い兄貴が出来て、私たちも嬉しいです!

▼編集後記▼

先月、南相馬に行ったことから「避難解除」は本当に大丈夫かと思っていたら7月12日、南相馬の未来を憂える市民有志の名で「福島第一原発事故の避難解除にあたって一桜井勝延市長の歴史的責任を問う一住民の命と健康を放射線の危険にさらす選択をした」の声明が出されていた。①住民の叫びを真摯に受け止めず事実上切り捨てた、②住民の命と健康を放射線の危険にさらす選択をした、③被害者切り捨ての政府政策を加速させる役割を果たしたこと等をあげている。桜井市長が、かつて反対闘争の先頭に立った原町区大甕地区の産廃処理場近くの田んぼは、いま、広大な除染廃棄物の仮置き場となり、黒いフレコンバックが累々と積み上げられている。「脱原発都市宣言」を誇り、「脱原発首長連合」の代表世話人に名を連ね、原発再稼働に「怒りを覚える」と語り、「われわれ現場で政治を預かる者にとって一番大切なのは、市民の命なんですよ」と言っていた人の変りようをこの声明は冷静にしっかりととらえていた。